

2012年9月3日  
企画委員会 伊藤

## 第7回ロードマップ討議開催ご報告

8月25日（土）にロードマップ討議を開催しましたので概要をご報告します。

場所：慶應義塾大学三田キャンパス萬來舎

参加人数：12名

### 会議次第

#### 1 学会の現状活動評価

- ・ 2011年度活動実績と2012年度8月までの活動実績について概要報告。
- ・ 概要報告は、昨年は東日本大震災が発生し、また、一般社団法人化1年目であったが、活動は概ね計画通りに実行できた。シンポジウム開催、京都での全国研究発表大会を開催、「社会への提言」、メルマガ発行、研究会活動状況、ジャーナル発行、基盤整備検討、賛助会員との賀詞交歓会等について簡潔に説明がされた。
- ・ 現状活動評価として、大きな問題は無く継続して学会の水準向上に取り組むことで参加者は一致した。

#### 2 公益法人への移行課題

- ・ 当学会は一般社団法人化時点から将来、公益法人への移行を展望することを学会の目標としている。今回、公益法人移行についての一般的課題を確認した。
- ・ 公益法人については、平成20年12月1日に新制度が施行され国（内閣府）の公益認定等委員会、または、都道府県の公益認定等委員会/審議会で新たに公益法人認定を受ける制度となった。当学会は、公益社団法人を目標とすることになる。
- ・ 公益社団法人の主な認定基準は、公益事業が法人の目的、事業実施に必要な経営的基礎と技術的能力を保有していること、財務に関し一定の基準を満足していること、財産に関する要件等があることが課題であることを認識した。

#### 3 中長期ロードマップ

- ・ 2015年は当学会創立10周年に当たるので、2015年を目標に「情報システム学体系」を提案出来るように活動する。
- ・ 公益法人移行は、上記のように認定条件があるので今後も継続して検討し具体的な目標年度を明確にする。
- ・ 上記「情報システム学体系」構築のアプローチ方法について参加者の溝口理事より以下の提案があった。以下の文脈で「情報システム」は企業情報システムを想定している。

(1)「情報システム」の意味を明らかにする。その延長で「学」とするには整理

が困難な課題がある。このため長期的課題として整理すべき。

(2) 情報システム構築の手法の適用の条件・制約の事例整理を行なう。この整理は、教育のためにも有効である。

(3) 情報システム教育の内容と教育方法の明示化を以下を意識し整理する。

(注：明示化はBOKの意味では無い。)

- ・教育対象者の基礎知識・構築経験の認識
- ・教育教材の選定
- ・教育方法の吟味

以上がご提案です。

情報システムを「社会情報システム」として認識するアプローチもあるので今後、「情報システム学体系化」の議論を活発に行うことで参加者全員、一致しました。

以上

ご意見等がありましたら企画委員会までお願いします。